



DX推進の具体策

働き手不足の中で、生産性向上は必須。



膨大な書類作成と整理
業務のムリ・ムダ・ムラに時間ロス



膨大な記録業務
他職種からの業務依頼



膨大な定型反復業務
紙業務や押印業務が散在

- 電子カルテの導入、利活用
- 患者説明の動画化
- 一部業務を他職種へ移管
- 事務作業の簡略化、移管

- 5Sの実践
- 記録業務の負担軽減
- 医師と他職種との意思疎通強化
- 病棟内の動線改善

- PC業務の自動化 (RPA)
- 業務フローの見直し
- 紙業務の廃止
- 押印業務の廃止

「患者に価値貢献できる」病院を目指すには

院内データをフルに活用し、患者への
提供価値を最大化できている状態

事務職は「考える」仕事を。医療職は「医療の質向上」へ。



システムが適切に繋がっていて、
院内データがすぐに活用できている状態

患者情報などデータの利活用が進むようなシステム連携。



デジタルツールを導入し、
効果的・効率的に活用できている状態

誰でもできる単純業務はデジタルに代替。システム基盤の構築。



お問い合わせはこちら



詳細は裏面へ

こんなお悩みはありませんか？

DXといっても、何から始めたら良いか分からない・・・

事例が無い中で取り組みを進めるのが難しい・・・

そもそも院内の人員リソースが足りていない・・・

まずは現状分析から！

現状分析

ヒアリング・現場確認を通じて、貴院の課題を調査・特定します。

DXビジョン策定

現状分析で見えた課題解決に向け、戦略立案及びアクションプランを策定します。

DX実行サポート

分析結果をもとに実行を支援します。
(製品導入サポート、PJへの助言など)

各職員の業務の把握

定量分析

- ✓ 各課各業務にかかる業務時間の把握（残業、業務量調査）
- ✓ 各業務の数量調査（患者数、入力量など）

定性分析

- ✓ 各業務手順の確認

各部署へのヒアリング

- ✓ 分析から抽出された課題に対する改善提案について現場で実行可能か確認

提案報告書作成

効率化可能な業務と技術の提案

業務量の適正化に向けた分配の提案

標準化に向けた業務フロー見直しの提案

現場への実行支援（業務改善委員会の発足・提言）

第1フェーズ

第2フェーズ